

# 海外邦人援護件数の特徴と推移

## 1. ～2005年(平成17年)の特徴～

- (1) 2005年において我が国在外公館及び財団法人交流協会が取り扱った海外における事件・事故等に係わる総援護件数は1万5千955件(対前年比0.4%減)で、総援護人数は1万9千503人(対前年比10.8%減)であった。
- (2) 今次集計結果として、邦人援護件数・人数ともに若干減となったが、前年の数値がインド洋津波による大幅増となっていたことから、結果的には高止まりとなった。また国際社会との関係の深まりに伴い、外国人配偶者との離婚や同配偶者との間の子供の養育に関わる問題など専門的知識を要する援護事案が増大しているほか、レジャー・スポーツへの関心の高まりに伴い、山岳事故や水難事故などに対する援護事案が増加することとなった。
- (3) 「犯罪加害」は515件(598人)となり、主なものは、出入国・査証関係犯罪、(113件、126人)傷害・暴行(62件、66人)、道路交通法違反(61件、62人)、麻薬(49件、60人)である。
- (4) 「犯罪被害」は6,352件(7,070人)となり、その多く(約8割)は窃盗被害(5,067件、5,561人)である。次いで強盗被害(519件、596人)、詐欺被害(436件、496人)がこれに続く。
- (5) 「事故・災害」については、交通事故(206件、358人)が最も多く、その死亡者は53人であった。
- (6) 地域別では、アジア地域が6,263件(7,033人)と前年に引き続き最も多く、次いで欧州地域4,441件(5,159人)、北米地域2,833件(4,374人)、大洋州地域1,061件(1,192人)、中南米地域756件(961人)、アフリカ地域320件(463人)、中東地域281件(321人)となっており、過去13年間この地域別順位に変動はない。
- (7) 在外公館別の援護件数の上位公館を見ると、在タイ大使館が前年に引き続き1,499件と最も多く、次いで在英国大使館(919件、前年2位)、在上海総領事館(913件、前年5位)、在フィリピン大使館(884件、前年3位)、在ロシア総領事館(737件、前年4位)となっており、特に在タイ大使館は13年連続で全在外公館中、総援護件数が最高となっている。

### < 件 数 >

	総 件 数		ア ジ ア	北 米	中 南 米	欧 州	大 洋 州	中 東	ア フ リ カ
事 故 ・ 災 害	384	内 訳	169	81	32	32	47	11	12
戦 闘 ・ 暴 動	1		1	0	0	0	0	0	0
犯 罪 加 害	515		264	140	16	43	37	5	10
犯 罪 被 害	6,352		1,925	691	433	2,591	469	86	157
疾 病	883		479	100	43	111	21	84	45
行 方 不 明	106		59	17	5	13	6	4	2
そ の 他	7,714		3,366	1,804	227	1,651	481	91	94
総 数	15,955		6,263	2,833	756	4,441	1,061	281	320

### < 人 数 >

	総 人 数		ア ジ ア	北 米	中 南 米	欧 州	大 洋 州	中 東	ア フ リ カ
事 故 ・ 災 害	708	内 訳	233	122	101	97	85	23	47
戦 闘 ・ 暴 動	1		1	0	0	0	0	0	0
犯 罪 加 害	598		308	150	18	58	41	5	18
犯 罪 被 害	7,070		2,089	804	518	2,844	524	104	187
疾 病	930		519	102	44	111	21	84	49
行 方 不 明	112		64	17	5	14	6	4	2
そ の 他	10,084		3,819	3,179	275	2,035	515	101	160
総 数	19,503		7,033	4,374	961	5,159	1,192	321	463
うち、死亡者数(人)	615		367	107	31	71	18	7	14
うち、負傷者数(人)	669		278	71	48	154	61	35	22

## 2. 事件・事故件数の推移総括表

暦年	総件数	内容別件数			総人数	死亡者数	負傷者数	[参考] 海外渡航者数 (法務省入国管理局統計)
		強盗・窃盗・詐欺 (被害犯罪・財産犯)	遺失 (旅券・財布等)	その他 (事故・犯罪加害・他案件)				
1996	12,663件 (前年比:9.6%増)	6,490件 (前年比:8.6%増)	3,028件 (前年比:8.1%増)	3,145件 (前年比:13.5%増)	15,261人 (前年比:19.8%増)	444人 (内犯罪被害23人)	407人 (内犯罪被害155人)	16,694,769人 (前年比:9.1%増)
1997	12,432件 (前年比:1.8%減)	6,275件 (前年比:3.3%減)	2,971件 (前年比:1.9%減)	3,186件 (前年比:1.3%増)	15,344人 (前年比:0.5%増)	468人 (内犯罪被害29人)	522人 (内犯罪被害161人)	16,802,750人 (前年比:0.6%増)
1998	12,818件 (前年比:3.1%増)	6,299件 (前年比:0.4%増)	2,825件 (前年比:4.9%減)	3,694件 (前年比:15.9%増)	19,898人 (前年比:29.7%増)	480人 (内犯罪被害18人)	464人 (内犯罪被害165人)	15,806,218人 (前年比:5.9%減)
1999	13,569件 (前年比:5.9%増)	6,482件 (前年比:2.9%増)	3,132件 (前年比:10.9%増)	3,955件 (前年比:7.1%増)	15,657人 (前年比:21.3%減)	462人 (内犯罪被害24人)	600人 (内犯罪被害292人)	16,357,572人 (前年比:3.5%増)
2000	14,754件 (前年比:8.7%増)	7,132件 (前年比:10.0%増)	3,261件 (前年比:4.1%増)	4,361件 (前年比:10.3%増)	17,141人 (前年比:9.5%増)	439人 (内犯罪被害19人)	881人 (内犯罪被害545人)	17,818,590人 (前年比:8.9%増)
2001	14,118件 (前年比:4.3%減)	7,714件 (前年比:8.2%増)	2,311件 (前年比:29.1%減)	4,093件 (前年比:6.1%減)	16,745人 (前年比:2.3%減)	467人 (内犯罪被害36人)	684人 (内犯罪被害287人)	16,215,657人 (前年比:9.0%減)
2002	14,364件 (前年比:1.7%増)	6,837件 (前年比:11.4%減)	2,166件 (前年比:6.3%減)	5,361件 (前年比:31.0%増)	16,996人 (前年比:1.5%増)	516人 (内犯罪被害28人)	670人 (内犯罪被害325人)	16,522,804人 (前年比:1.9%増)
2003	14,472件 (前年比:0.8%増)	5,947件 (前年比:13.0%減)	2,508件 (前年比:15.8%増)	6,017件 (前年比:12.2%増)	17,426人 (前年比:2.5%増)	483人 (内犯罪被害27人)	691人 (内犯罪被害278人)	13,296,330人 (前年比:19.5%減)
2004	16,023件 (前年比:10.7%増)	6,066件 (前年比:2.0%増)	3,086件 (前年比:23.0%増)	6,871件 (前年比:14.2%増)	21,871人 (前年比:25.5%増)	564人 (内犯罪被害15人)	788人 (内犯罪被害324人)	16,831,112人 (前年比:26.6%増)
2005	15,955件 (前年比:0.4%減)	6,022件 (前年比:0.7%減)	3,231件 (前年比:4.7%増)	6,702件 (前年比:2.5%減)	19,503人 (前年比:10.8%減)	615人 (内犯罪被害24人)	669人 (内犯罪被害307人)	17,403,565人 (前年比:3.4%増)

注：死亡者数、負傷者数には、犯罪被害によるもののほか、事故や疾病によるもの、自殺等が含まれる。

### 3 地域別援護件数・人数の推移総括表

暦年	アジア		北米		中南米		欧州		大洋州		中東		アフリカ		総数	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
1996	4,351 7.2%増	4,842 11.3%増	2,939 12.5%増	3,351 14.4%増	381 4.8%減	930 97.0%増	4,053 10.9%増	4,481 10.3%増	514 3.6%増	961 73.5%増	135 43.6%増	160 60.0%増	290 25.0%増	536 100.0%増	12,663 9.6%増	15,261 19.8%増
1997	4,099 5.8%減	5,631 16.3%増	2,855 2.9%減	3,303 1.4%減	377 1.0%減	470 49.5%減	4,054 0.0%増	4,537 1.2%増	601 16.9%増	782 18.6%減	173 28.1%増	240 50.0%増	273 5.9%減	381 28.9%減	12,432 1.8%減	15,344 0.5%増
1998	4,296 4.8%増	10,318 83.2%増	2,805 1.8%減	3,147 4.7%減	380 0.8%増	484 3.0%増	4,261 5.1%増	4,602 1.4%増	699 16.3%増	797 1.9%増	136 21.4%減	173 27.9%減	241 11.7%減	377 1.0%減	12,818 3.1%増	19,898 29.7%増
1999	4,717 9.8%増	5,420 47.5%減	3,042 8.4%増	3,510 11.5%増	414 8.9%増	567 17.1%増	4,238 0.5%減	4,798 4.3%増	718 2.7%増	827 3.8%増	171 25.7%増	188 8.7%増	269 11.6%増	347 8.0%減	13,569 5.9%増	15,657 21.3%減
2000	5,015 6.3%増	5,943 9.6%増	3,230 6.2%増	3,595 2.4%増	423 2.2%増	501 11.6%減	4,763 12.4%増	5,403 12.6%増	905 26.0%増	1,207 45.9%増	162 5.3%減	180 4.3%減	256 4.8%減	312 10.1%減	14,754 8.7%増	17,141 9.5%増
2001	5,375 7.2%増	5,989 0.8%増	2,794 13.5%減	3,945 9.7%増	450 6.4%増	592 18.2%増	4,285 10.0%減	4,798 11.2%減	895 1.1%減	1,054 12.7%減	100 38.3%減	116 35.6%減	219 14.5%減	251 19.6%減	14,118 4.3%減	16,745 2.3%減
2002	5,643 5.0%増	7,242 20.9%増	2,668 4.5%減	2,913 26.2%減	468 4.0%増	552 6.8%減	4,286 0.0%増	4,740 1.2%減	972 8.6%増	1,115 5.8%増	112 12.0%増	123 6.0%増	215 1.8%減	311 23.9%増	14,364 1.7%増	16,996 1.5%増
2003	5,645 0.0%増	7,019 3.1%減	2,677 0.3%増	3,036 4.2%増	559 19.4%増	704 27.5%増	4,120 3.9%減	4,802 1.3%増	1,026 5.6%増	1,175 5.4%増	124 10.7%増	143 16.3%増	321 49.3%増	547 75.9%増	14,472 0.8%増	17,426 2.5%増
2004	6,200 9.8%増	10,871 54.9%増	2,839 6.1%増	3,097 2.0%増	708 26.7%増	913 29.7%増	4,657 13.0%増	5,131 6.9%増	1,128 9.9%増	1,258 7.1%増	203 63.7%増	226 58.0%増	288 10.3%減	375 31.4%減	16,023 10.7%増	21,871 25.5%増
2005	6,263 1.0%増	7,033 35.3%減	2,833 0.2%減	4,374 41.2%増	756 6.8%増	961 5.3%増	4,441 4.6%減	5,159 0.5%増	1,061 5.9%減	1,192 5.2%減	281 38.4%増	321 42.0%増	320 11.1%増	463 23.5%増	15,955 0.4%減	19,503 10.8%減

注：下段は対前年比

#### 4 . 2005年（平成17年）の援護件数の多い在外公館上位20公館

順位	在外公館名	件数	順位	在外公館名	件数
1	在タイ日本国大使館	1,499 件	11	在中華人民共和国日本国大使館	370 件
2	在英国日本国大使館	919 件	12	在広州日本国総領事館	323 件
3	在上海日本国総領事館	913 件	13	在サンフランシスコ日本国総領事館	314 件
4	在フィリピン日本国大使館	884 件	14	在ブリスベン日本国総領事館	246 件
5	在ロサンゼルス日本国総領事館	737 件	15	在バンクーバー日本国総領事館	246 件
6	在フランス日本国大使館	725 件	16	在ミラノ日本国総領事館	234 件
7	在ニューヨーク日本国総領事館	484 件	17	在チェコ日本国大使館	227 件
8	在大韓民国日本国大使館	410 件	18	在バルセロナ日本国総領事館	220 件
9	在イタリア日本国大使館	396 件	19	在香港日本国総領事館	205 件
10	在シドニー日本国総領事館	380 件	20	在ホノルル日本国総領事館	202 件

（参考）交流協会台北事務所： 164件

## 5. 2005年(平成17年)の主な事件・事故の事例

### (1) 事故・災害

- ・ 航空機事故
  - 05年9月 米国のテキサス州において邦人パイロットが操縦する小型飛行機が墜落し、同人が死亡した。
  - 05年9月 インドネシアのメダン発ジャカルタ行き航空機が離陸直後に墜落し、邦人1人が死亡した。
  - 05年9月 米国のワシントン州において邦人が操縦するハングライダーが墜落し、同人が死亡した。
  - 05年9月 カナダのケベック州において邦人5人が搭乗した観光用水上飛行機が墜落し、邦人1人が死亡、2人が負傷した。
- ・ 登山事故
  - 05年7月 スイスのグリンデルワイド・アイガー南斜面にて滑落事故が発生し、邦人登山者1人が死亡し、2人が負傷した。
- ・ レジャー・スポーツ事故
  - 05年7月 米国のサイパンにおいて邦人2人がスキューバダイビング中の事故により死亡した。
- ・ ハリケーン
  - 05年8月 米国南部に大型のハリケーン・カトリーナが上陸し、邦人1人が死亡、多数の邦人が避難した。
- ・ 地震
  - 05年10月 パキスタンのイスラマバードにおいて地震により住宅が倒壊し、邦人2人が死亡した。
- ・ 交通事故
  - 05年4月 フランスのパリ郊外において日本人団体ツアーを乗せたバスが路肩に転落し、邦人3人が死亡、15人が重軽傷を負った。
  - 05年5月 中国の江蘇省において、在留邦人6人の乗ったワゴン車にトラックが衝突し、2人が重傷、4人が軽傷を負った。
  - 05年6月 米国オハイオ州において、邦人留学生1人が死亡、1人が重傷を負った。
  - 05年7月 カナダのオンタリオ州において、邦人留学生2人が死亡、2人が重傷を負った。
  - 05年7月 中国の山東省において、出張中の邦人3人を乗せたバンが反対車線を走行中の中型バスと衝突し、邦人3人が死亡した。
  - 05年8月 米国カルフォルニア州において、邦人留学生1人が死亡、2人が重傷を負った。
  - 05年12月 中国の寧波市において、出張中の邦人2人を乗せた乗用車がトラックを追い抜こうとした際に追突、1人が死亡、1人が重傷を負った。
  - 05年12月 中国の山東省にて邦人2人を乗せた乗用車に大型トラックが衝突し、邦人1人が死亡、1人が重傷を負った。
- ・ その他
  - 05年8月 ジンバブエのサファリパークで観光旅行中の邦人1人がライオンに襲われ死亡した。

### (2) 犯罪被害

- ・ 殺人・同未遂 (2005年中に海外で邦人が被害者となった主な殺人事件一覧(P6)参照)
- ・ 誘拐
  - 05年3月 マラッカ海峡において、日本船籍タグボートが海賊に襲撃され、日本人船長、機関長及びフィリピン人船員が拉致された。(後に無事解放)
- ・ 強盗・同未遂 (財産犯被害件数と手口(P7)参照)
- ・ 窃盗・同未遂
  - 同
- ・ 詐欺・同未遂
  - 通年 タイ、マレーシアなど東南アジア諸国で邦人旅行者がいかに賭博に巻き込まれる事件が多発した。
  - 通年 トルコのイスタンブール等において邦人旅行者が睡眠薬強盗に遭う事件が多発した。
- ・ テロ
  - 05年5月 イラク西部で邦人1人を含む民間警備コンサルタント一行が武装グループに襲撃され、同邦人が行方不明となった。
  - 05年7月 英国ロンドンにて連続爆破事件が発生し、多数が死傷。邦人にも負傷者が出た。
  - 05年10月 インドネシアのバリ島にて連続爆破事件が発生し、邦人1人が死亡、数人が重軽傷を負った。
- ・ 立て籠もり
  - 05年6月 カンボジアのシムリアップの国際スクールで日本人園児を含む約30人を人質にした立て籠もり事件が発生し、カナダ人幼児1人が死亡。

## 6. 2005年(平成17年)の主な犯罪加害及びその他の事例の特徴

### (1) 犯罪加害

- ・ 出入国・査証関係犯罪 不法滞在、不法入国、密入国幫助等の出入国管理法違反、旅券・査証の偽変造事犯等が含まれる。
- ・ 詐欺 偽造クレジットカード行使等。
- ・ 麻薬犯罪 (麻薬犯罪者の傾向と詳細は、麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴(P8)参照)

### (2) その他の事例

- ・ 疾病 疾病による死亡者は396人を数え、全死亡者の半数以上を占める。
- ・ 精神障害 (精神障害者の性別・年齢別特徴(P9)参照)
- ・ 遺失 本人の不注意によるものが大半を占める。
- ・ 出入国・査証関係 在留邦人、邦人旅行者が移民局等とトラブルを起こしたケースが含まれる。逮捕又は国外退去措置を受けるに至った場合には犯罪加害として集計した。
- ・ 所在調査 遺産相続、不動産登記、用地買収等の為、海外に転居した親族に連絡を取る必要がある場合、弁護士法23条の2による照会、官公庁及び三親等以内の親族よりの所在調査依頼がある。

## 7. 2005年(平成17年)に海外で邦人が被害者となった主な殺人事件

発生日	発生国	内 容
2005年 5 月	米 国	ロサンゼルスにおいて、邦人留学生が殺害された。
2005年 7 月	ウズベキスタン	タシケント市内のホテルにおいて、邦人旅行者が殺害された。
2005年 7 月	フィリピン	サントトマスにおいて、邦人旅行者が殺害された。
2005年 9 月	アフガニスタン	カンダハール県郊外で、邦人旅行者2人が遺体で発見された。
2005年 9 月	ブラジル	サンパウロ郊外において、邦人永住者一家が強盗に襲われ、5人(うち邦人1人)が殺害された。
2005年 11 月	韓 国	昌原市のホテルにおいて、邦人留学生が殺害された。
2005年 12 月	米 国	ロサンゼルスにおいて、邦人留学生が殺害された。
2005年 12 月	フィリピン	ミンダナオ島において、邦人旅行者が殺害された。

## 8. 財産犯(窃盗・強盗・詐欺)被害件数と手口

区 分	件 数	地 域 別								人 数	性 別			年 齢					
		アジア	北 米	中 南 米	欧 州	大 洋 州	中 東	アフリカ	男 性		女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明
<b>窃 盗</b> 計	5,067	1,361	614	252	2,328	373	51	88	5,561	3,106	2,294	161	221	1,431	1,164	804	819	698	424
置き引き 小 計	2,067	470	267	113	1,041	136	12	28	2,244	1,286	902	56	97	555	469	312	364	296	151
レストラン	472	122	65	20	220	39	3	3	499	258	226	15	15	149	111	75	66	60	23
空港	183	57	23	10	87	2	2	2	204	136	65	3	6	24	46	41	44	22	21
ホテル	409	87	64	11	219	16	2	10	461	251	194	16	17	51	72	61	106	119	35
デパート	71	38	6	4	21	2	0	0	79	40	38	1	4	17	23	14	10	9	2
列車・長距離バス	256	33	3	25	191	2	2	0	282	180	101	1	12	76	54	40	49	23	28
路上・地下鉄	115	21	10	6	67	8	1	2	122	79	33	10	5	37	28	15	14	10	13
その他	561	112	96	37	236	67	2	11	597	342	245	10	38	201	135	66	75	53	29
<b>ス リ</b> 小 計	1,311	374	53	53	770	28	16	17	1,384	727	629	28	34	376	261	184	194	237	98
話掛け	65	8	3	2	52	0	0	0	69	41	24	4	0	23	13	9	8	7	9
道案内依頼	22	17	0	0	5	0	0	0	22	19	3	0	2	4	2	5	4	3	2
子供のスリ集団	28	4	0	0	20	1	1	2	32	18	14	0	0	6	7	0	9	7	3
集団スリ	137	19	3	8	98	2	6	1	155	90	63	2	4	32	25	21	23	26	24
ケチャップ、コイン落とし等	32	3	1	2	26	0	0	0	35	20	14	1	1	6	7	4	7	6	4
その他	1,027	323	46	41	569	25	9	14	1,071	539	511	21	27	305	207	145	143	188	56
<b>その他</b> 小 計	1,689	517	294	86	517	209	23	43	1,933	1,093	763	77	90	500	434	308	261	165	175
車上狙い	548	124	186	20	155	51	1	11	654	457	164	33	18	130	179	135	95	45	52
空巣	195	50	39	18	33	41	6	8	239	113	110	16	33	65	57	27	13	22	22
ひったくり	467	170	23	22	216	24	6	6	505	210	286	9	19	127	96	77	99	48	39
その他	479	173	46	26	113	93	10	18	535	313	203	19	20	178	102	69	54	50	62
<b>強 盗</b> 計	519	107	20	127	158	40	19	48	596	381	189	26	13	171	125	82	83	44	78
強奪ノバイク	3	1	0	2	0	0	0	0	4	3	1	0	0	1	1	1	0	0	0
強奪ノ車	10	1	0	4	2	1	1	1	11	8	3	0	1	3	3	2	1	0	1
強奪ノその他	124	31	6	21	40	10	6	10	139	100	36	3	3	33	32	17	27	10	17
睡眠薬強盗	60	36	0	3	11	0	9	1	62	55	6	1	1	34	15	3	4	0	5
侵入強盗	47	9	1	14	4	9	0	10	68	47	12	9	2	3	12	8	13	11	19
カージャック	9	5	0	1	1	0	0	2	9	4	4	1	0	2	2	1	1	1	1
羽交い締め強盗	113	10	2	34	47	9	2	9	121	69	50	2	1	43	19	22	16	8	12
その他	153	14	11	48	53	11	1	15	182	95	77	10	5	52	41	27	20	14	23
<b>詐 欺</b> 計	436	289	16	23	68	20	9	11	496	300	170	26	7	177	84	24	26	19	159
いかさま賭博	135	134	0	0	0	0	1	0	145	71	66	8	3	84	23	1	2	2	30
暴力キャッチパー	24	15	0	0	5	0	4	0	29	29	0	0	1	14	5	4	0	0	5
宝石・洋服詐欺	36	36	0	0	0	0	0	0	54	25	22	7	0	14	8	0	0	0	32
偽警官・ガイド	44	8	0	6	27	0	2	1	56	36	14	6	2	13	11	6	4	3	17
寸借詐欺	19	13	0	3	2	1	0	0	21	16	5	0	0	10	5	0	1	0	5
その他	178	83	16	14	34	19	2	10	191	123	63	5	1	42	32	13	19	14	70
<b>合 計</b>	6,022	1,757	650	402	2,554	433	79	147	6,653	3,787	2,653	213	241	1,779	1,373	910	928	761	661

区分の説明：「窃盗」の「その他」欄は、主にデパート、ビーチ、公園、ゲームセンター、駅構内等。  
「スリ」被害のほとんどは無意識のうちに被害に遭っており、具体的手口等の細分化が困難であるので、スリ被害の大半は「その他」欄に記載した。  
「強盗」の「その他」欄は、ほとんどが数人の集団による強奪被害。  
主な手口  
(1) 窃盗(置き引き)：欧州地域を中心に、団体ツアー用バスに置かれた貴重品を犯人が隙を見てバスに侵入し、盗む。  
(2) 強盗(強奪)：欧州地域で被害者がタクシーに乗車中、渋滞等で停止した際に犯人が近寄り、窓ガラスを割り、座席に置かれた所持品を強奪する。  
(3) 詐欺(いかさま賭博)：言葉巧みにトランプ賭博等に誘い入れ、金を巻き上げる。

## 9. 麻薬犯罪者、疾病者、精神障害者、行方不明者及び被安否照会者の性別・年齢別特徴

### 麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	短期滞在者	不明
アジア地域	29	29	0	0	1	12	6	2	4	2	2	5	15	9
北米地域	12	8	4	0	1	6	3	1	0	0	1	6	6	0
中南米地域	9	8	1	0	1	7	0	0	0	1	0	1	8	0
欧州地域	2	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0
大洋州地域	7	6	1	0	0	4	3	0	0	0	0	1	2	4
中東地域	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
アフリカ地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	60	53	7	0	3	30	13	3	4	4	3	14	33	13

麻薬犯罪は20代・30代が3分の2以上を占める。

短期滞在者(旅行者)が大多数を占める。

### 疾病者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	短期滞在者	不明
アジア地域	519	380	99	40	21	29	32	70	101	183	83	211	221	87
北米地域	102	61	39	2	3	9	7	6	18	30	29	45	48	9
中南米地域	44	29	15	0	0	7	6	5	1	12	13	17	25	2
欧州地域	111	66	45	0	4	7	9	14	17	45	15	39	69	3
大洋州地域	21	13	8	0	0	3	3	2	6	3	4	11	8	2
中東地域	84	45	39	0	1	9	36	15	9	12	2	64	20	0
アフリカ地域	49	32	16	1	1	12	7	2	8	7	12	19	28	2
合計	930	626	261	43	30	76	100	114	160	292	158	406	419	105



### 精神障害者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	短期滞在者	不明
アジア地域	88	53	35	0	1	12	29	16	17	10	3	14	66	8
北米地域	100	42	57	1	3	27	23	17	17	6	7	41	51	8
中南米地域	4	1	3	0	0	0	1	1	0	1	1	4	0	0
欧州地域	55	23	31	1	0	10	14	6	4	9	12	28	20	7
大洋州地域	32	14	18	0	2	15	5	2	4	2	2	16	16	0
中東地域	6	1	5	0	0	3	2	0	1	0	0	0	5	1
アフリカ地域	3	0	3	0	0	0	1	0	1	1	0	2	1	0
合計	288	134	152	2	6	67	75	42	44	29	25	105	159	24

### 行方不明者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	短期滞在者	不明
アジア地域	64	48	16	0	8	9	11	13	7	7	9	13	47	4
北米地域	17	10	7	0	3	3	3	2	3	2	1	6	6	5
中南米地域	5	5	0	0	0	0	1	2	1	0	1	3	1	1
欧州地域	14	6	8	0	0	5	4	2	0	3	0	4	9	1
大洋州地域	6	3	3	0	1	2	0	0	0	1	2	2	4	0
中東地域	4	4	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	3	1
アフリカ地域	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1
合計	112	78	34	0	12	22	20	19	12	14	13	28	71	13

### 被安否照会者の性別・年齢別特徴

地域名	総人数	性別			年齢							滞在形態		
		男性	女性	不明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不明	在留邦人	短期滞在者	不明
アジア地域	247	173	69	5	10	70	38	26	31	16	56	49	150	48
北米地域	265	51	47	167	3	25	29	12	3	5	188	71	16	178
中南米地域	29	14	12	3	1	10	2	1	2	2	11	9	16	4
欧州地域	60	26	34	0	2	16	11	2	2	6	21	27	26	7
大洋州地域	38	13	25	0	1	13	11	0	0	2	11	25	6	7
中東地域	5	2	3	0	0	2	1	0	1	0	1	1	4	0
アフリカ地域	8	2	6	0	0	2	4	0	0	0	2	4	4	0
合計	652	281	196	175	17	138	96	41	39	31	290	186	222	244